

ブルグ劇場 (1937)

BURG THEATER

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 オーストリア

色彩 B&W

時間 123分

初公開日 1939/09

公開情報 劇場公開

【解説】

「未成交響楽」「たそがれの維納（ウィーン）」で知られるW・フォルストの代表作。18世紀に建てられた演劇の殿堂、ウィーン国立ブルグ劇場。この作品は、ここで19世紀末に活躍した名優フリードリヒ・ミッテルヴァルツァー（映画ではミッテラー）が社交界嫌いで、彼の私生活が全く知られていないことにヒントを得て作られた。

名声が有りながら社交界嫌いで孤独な老優は、美しく純真な娘に出会い、年甲斐もなく恋心を抱く。だが彼女には、好きな俳優志望の青年がいた。それを知った彼が、二人の仲を取り持ってやるといったストーリー。これにミッテラーを社交界に引っ張り出そうとする男爵婦人が絡み、古き良き時代の美しい古都ウィーンを舞台に、情緒あふれる物語が繰り広げられる。「カリガリ博士」で知られる出演のW・クラウスは、第2次大戦後ブルグ劇場でも活躍した名優で、本作では「嘆きの天使」のように老いらくの恋に迷って惨めな醜態をさらすのではなく、年甲斐のない恋に迷いながらも自分の老いを悟っていく老優を、風格を持って演じている。また、老名優と青年の関係は、劇中演じられる『ファウスト』との微妙な二重構造を思わせる。巧みな語り口で、トーキー以後の戦前オーストリア映画の芸術性の高さを示している。

【クレジット】

監督	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
脚本	ヨッヘン・フート ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
撮影	テオドール・パール	Theodore Pahle
音楽	ペイター・クロイダー	Peter Kreuder
出演	ヴェルナー・クラウス オルガ・チェホワ ホルテンセ・ラキー ヴィリ・アイヒベルガー ハンス・モーゼル フランツ・ヘルテリッヒ カール・ギュンター オットー・ウィルヘルム・フィッシャー	Werner Krauss Olga Tschechowa